

平成 26 年度広島県高等学校共通学力テストの結果について

このことについて、別紙のとおり報告します。

平成 27 年 3 月 24 日

広島県教育委員会教育長 下崎 邦明

I テストの概要

1 趣 旨

学習指導要領における教科・科目の目標の達成状況を把握し、今後の各学校における指導の工夫・改善に役立てる。

2 実施対象校

公立高等学校の1年次及び2年次の生徒並びに特別支援学校で高等学校に準ずる教育課程を履修している1年次及び2年次の生徒

全公立高等学校 92校（県立高等学校81校，市立高等学校11校）  
特別支援学校 6校

3 実施期日

平成 26 年 11 月 13 日（木）

4 実施教科及び実施時間

国語，数学及び外国語（各教科とも 50 分）

併せて，生徒の生活や学習に関する意識・実態についてのアンケート調査及び学校の指導方法等に関するアンケート調査を実施。

5 問題の種類

	国語	数学		外国語	
	国語総合	数学活用	数学 I	コミュニケーション英語基礎	コミュニケーション英語 I
A 問題 (第1学年相当)	中学校の 学習内容	中学校の 学習内容	中学校の 学習内容	中学校の 学習内容	中学校の 学習内容
B 問題 (第2学年相当)	高等学校の 学習内容	高等学校の 学習内容	高等学校の 学習内容		高等学校の 学習内容

A問題は，中学校の学習内容約7割，高等学校の学習内容約3割で構成。

B問題は，中学校の学習内容約3割，高等学校の学習内容約7割で構成。

II テスト結果の概要

1 科目別平均通過率

- ・国語総合を受験した生徒については，通過率 60%以上の生徒の割合が7割を超えていることから，基礎的・基本的な学習内容はおおむね定着している。
- ・数学 I（B問題），コミュニケーション英語 I（A問題・B問題）は通過率 60%以上の生徒の割合が7割を下回っていることは課題。
- ・数学 I，コミュニケーション英語 Iについては，通過率 30%未満の生徒の割合が5%を上回って6いることは課題。

(%)

		国語		数学		外国語	
		A問題	B問題	A問題	B問題	A問題	B問題
		国語総合	国語総合	数学 I	数学 I	コミュニケーション英語 I	コミュニケーション英語 I
平均通過率	H26	74.4	70.0	69.7	65.2	67.5	65.7
	H25	71.7	71.2	70.1	70.8	69.5	70.7
通過率 60% 以上の生徒の 割合	H26	85.6	78.0	73.2	63.9	66.7	62.2
	H25	78.8	79.1	72.0	71.6	69.5	70.9
通過率 30% 未満の生徒の 割合	H26	1.5	1.7	7.3	9.3	9.4	11.6
	H25	2.6	2.0	9.0	7.5	8.6	7.8
実施対象 生徒数（人）	H26	16,529	15,252	16,161	15,455	16,026	15,506
	H25	16,822	15,040	16,219	15,466	16,074	15,508

※外国語 B 問題 コミュニケーション英語 I は，平成 25 年度まで英語 I で実施

## 2 各教科のまとめ

平成 26 年度に明らかになった主な改善・定着の状況と課題及び平成 27 年度の指導改善のポイント

	改善状況と課題 (○:改善・定着, ●:課題)	指導改善のポイント
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文学的文章を読むことについて、叙述に即して人物の心情を的確にとらえることは改善。</li> <li>○ 説明的文章を読むことについて、叙述に即して文章の内容を的確に読み取ることは改善。</li> <li>● 説明的文章を読むことについて、叙述に即して文章の内容を的確に読み取ることは課題。</li> <li>● 古典の文章を読むことについて、文章全体の内容を的確に読み取るとは課題。</li> <li>● 古典文法における文語文法についての理解はA問題では改善、B問題では継続課題。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 説明的文章を読むことの指導において、対比構造に注目させ、思考のためのツールを用いるなどし、文章の構成を考えさせながら、筆者の主張をとらえさせること。</li> <li>◆ 古典の文章を読むことの指導において、既習知識を踏まえ、前後の関係などをとらえながら、筆者の意図や文章全体の主題を考えさせること。</li> <li>◆ 古典の文章を読むことの指導において、既習の文法事項を繰り返し確認させることで、古典文法の理解を深めさせること。</li> </ul>
数学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 放物線の対称性について理解することは定着。</li> <li>● 二次関数の値域を求めることに課題。</li> <li>● 二次関数の式とグラフの関係を考察することに課題。</li> <li>● 三角比の定義の理解と公式の定着に課題。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 教具やICTを活用して視覚的に実感させたり、既存の知識をつなぎ合わせて、深い理解を促すこと。</li> <li>◆ グラフから読み取れることや、関数の式における係数の意味について、類推させたりまとめさせたりして考察をさせる学習活動を取り入れること。</li> <li>◆ 既習事項と関連付けながら考察させ、三角比の公式や定理を生徒自身に見出させたり、三角比を用いた公式や定理のよさを実感させたりすること。</li> </ul>
外国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 相手の発話の意図を理解して、適切な強勢やイントネーションによって応答することは改善。</li> <li>○ 指定された状況や文脈に応じた内容を、初歩的な英語を用いて正しく書くことについては定着。</li> <li>● 対話を聞いて、その概要や要点を把握することに課題。</li> <li>● まとまりのある英文を読んで情報を正確に読み取ること、また概要や要点を把握し、日本語で簡潔に表現することに課題。</li> <li>● 伝えたい情報や考えなどを正確に書くことに課題。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 細部にこだわらず大きな文脈を意識しながら聞く学習活動を取り入れること。</li> <li>◆ まとまりのある英文を読ませ、自分の考えをまとめさせることなどにより、概要や要点を把握する読みを促す指導を行うこと。</li> <li>◆ 英語で自己表現することの楽しさや達成感を感じさせながら、学習した文法項目等を用いて正確な文を書くこととする態度を育成するような指導を行うこと。</li> </ul>

【 国 語 】

永保の合戦の時、金沢城をせめけるにひとつらの雁飛びさりて荊田の面に「おりんとしけるが、にはかにおどろきてつらのみだりて飛び帰りけるを將軍あやしみてくつばみをおさへて、先年、江帥の「をしへ」給へる事あり。それ軍野に伏す時は飛雁つらをやぶる。この野にかならず敵伏したるべし。からめ手をまはすべきよし下知せらるれば、手をわかちて三方をまく時、あんのごとく三百余騎をかくし置きたりけり。両陣みだれあひてたゞかふ事限りなし。されどもかねてさとりぬる事なれば、將軍のいくさ勝に「乗り」て武衡等がいくさ破れにけり。

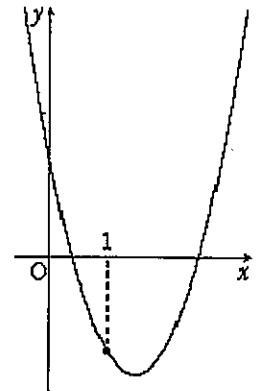
(「古今著聞集」による。)

この文章の内容と一致しているものを、次の①～④の中から選び、その番号を書きなさい。

- ① 將軍は、雁の様子から、敵が野原に潜んでいると察知し、戦に勝つことができた。
- ② 將軍は、雁が飛び立ったことで敵に居場所を見つけ、三方を囲まれ戦に負けた。
- ③ 將軍は、敵の三方に三百余騎の軍勢を隠し置くことにより、戦に勝つことができた。
- ④ 將軍は、急に飛び去った雁に驚き、取り乱している隙を敵につかれ、戦に負けた。

【 数 学 】

右の図は、二次関数  $y = ax^2 + bx + c$  のグラフです。このグラフから読みとれることについて、次の①～④の文章のうち、1つだけ間違っているものがあります。その番号を書きなさい。



- ① グラフが下に凸であるから、 $a > 0$ である。
- ② グラフとy軸との共有点のy座標が正であるから、 $c > 0$ である。
- ③ グラフより、 $x = 1$ のときのyの値が負であるから、 $a + b + c < 0$ である。
- ④ グラフがx軸と異なる2点で交わるので、 $b^2 - 4ac < 0$ である。

【 外国語 】

次の英文を読んで、あとの問いに答えなさい。

When Kate was 8 years old, her brother gave her a bicycle. The bicycle was very old and made a squeaky noise. Some neighbors didn't like the noise but she enjoyed riding it every day.

One morning, her bicycle disappeared. She was looking for it all around but she couldn't find it. "Where is my bicycle? Maybe, someone stole my bicycle!" She was very sad and she cried all day long.

The next morning, she understood everything. The man next door brought a bicycle to her house. He said, "Your bicycle has no noise any more. I repaired it for you. I'm sorry I didn't tell you about it." She thanked the man and was happy. Now she enjoys riding her bicycle.

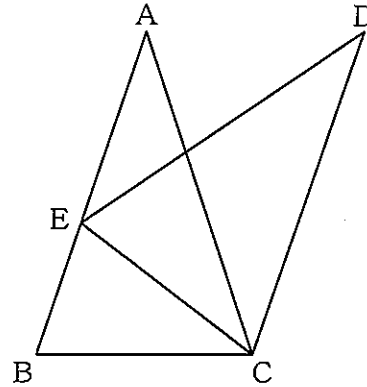
(注) a squeaky noise : キーキーという音 neighbor : 近所の人

問い: ケイトの気持ちが悲しい気持ちからうれしい気持ちに変化したのはなぜですか。その理由を日本語で書きなさい。

「( ) と思っていた自転車が、( ) から。」

【 数 学 】 (知識を総合的に活用する問題)

次の図のように、 $AB=AC$ の二等辺三角形 $ABC$ を頂点 $C$ を中心に回転させます。頂点 $B$ が辺 $AB$ 上にきたときの頂点 $A, B$ の位置をそれぞれ $D, E$ とします。このとき、 $AB \parallel DC$ であることを次のように証明しました。



証明

$AB=AC$  から、  $\angle ABC=\angle ACB$  … (i)

仮定から、 (あ) … (ii)

(i), (ii) より、 (い) … (iii)

また、 (う) … (iv)

(iii), (iv) より、  $\angle BEC=\angle DCE$   
 よって錯角が等しいので、  
 $AB \parallel DC$

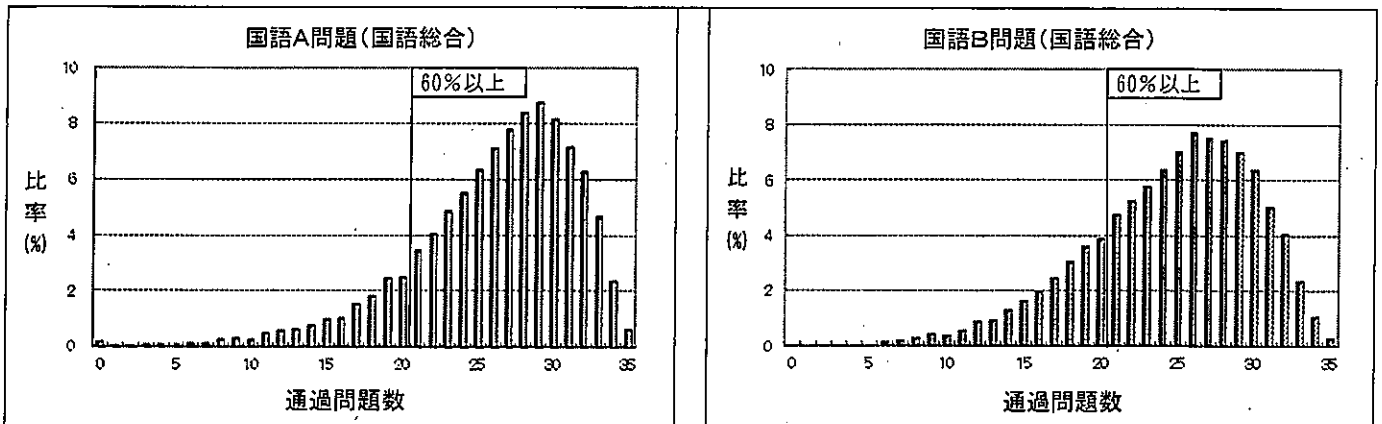
上の証明の (あ) ~ (う) にあてはまる組合せは、下の表の ①~④ のうちどれですか。その番号を書きなさい。

	(あ)	(い)	(う)
①	$\angle ACB=\angle DCE$	$\angle BAC=\angle EDC$	4点 $A, E, C, D$ が1つの円周上にあるので、 $\angle AED=\angle ACD$
②	$AB=DE$	$AC=DE$	4点 $A, E, C, D$ が1つの円周上にあるので、 $\angle AED=\angle ACD$
③	$\angle ACB=\angle DCE$	$\angle ABC=\angle DCE$	$CB=CE$ より、 $\angle ABC=\angle BEC$
④	$\angle ABC=\angle DEC$	$\angle DEC=\angle ACB$	$CB=CE$ より、 $\angle ABC=\angle BEC$

### 3 通過問題数ごとの受験者数比率

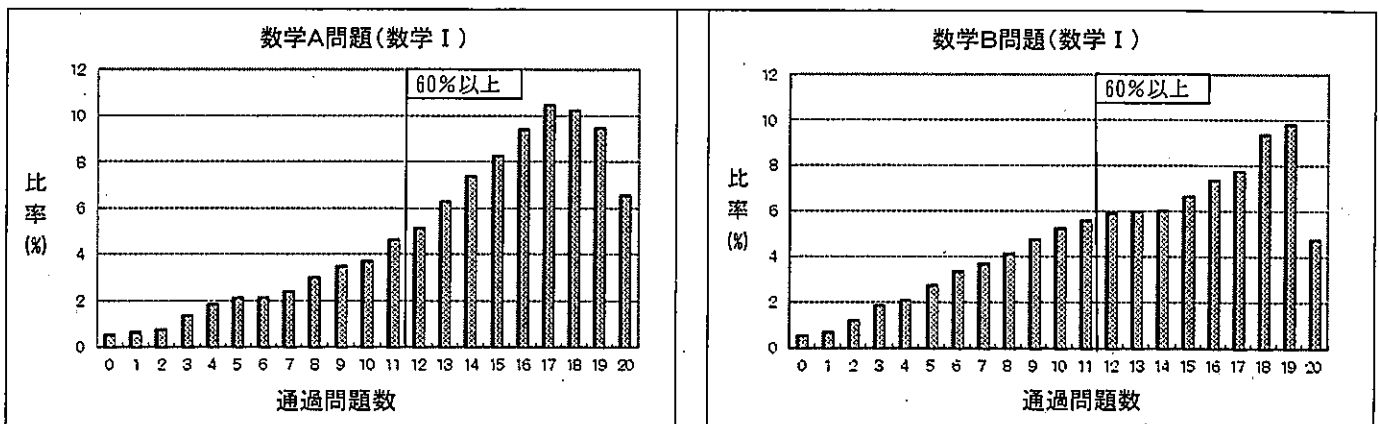
#### 【国語】

A, B問題ともに、グラフの全体の形がはっきりとした右寄りの山形であることから、基礎的・基本的な学習内容は定着しているが、定着が不十分な生徒（通過問題数 60%未満）も少なくない。



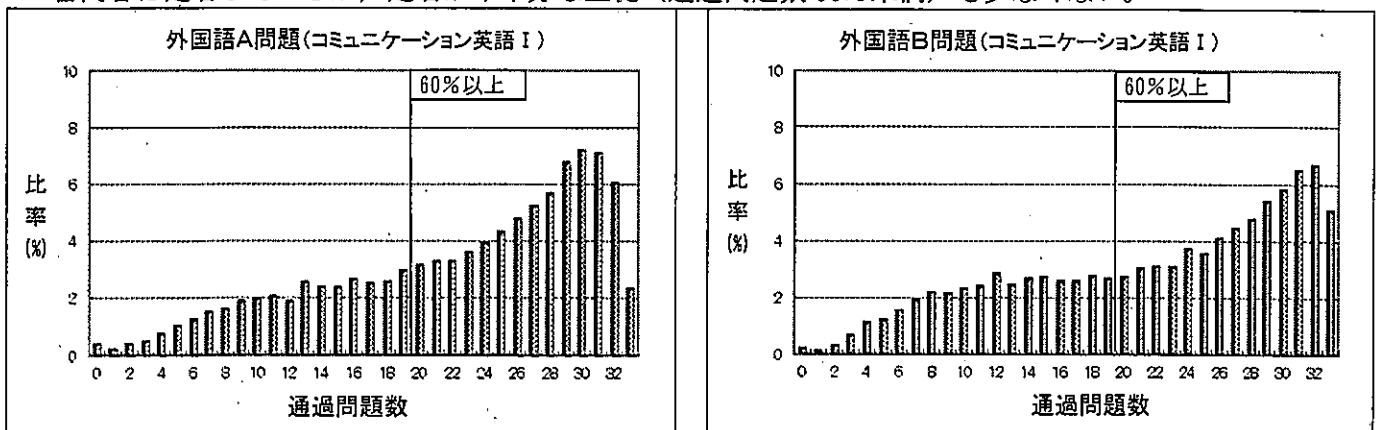
#### 【数学】

A, B問題ともに、グラフの全体の形がなだらかな右寄りの山形であることから、基礎的・基本的な学習内容は定着しているが、定着が不十分な生徒（通過問題数 60%未満）も少なくない。



#### 【外国語】

A, B問題ともに、グラフの全体の形がなだらかな右寄りの山形であることから、基礎的・基本的な学習内容は定着しているが、定着が不十分な生徒（通過問題数 60%未満）も少なくない。



※通過問題数=すべての設問に対する解答のうち、正答又は準正答であった数

#### 4 「基礎・基本」 定着状況調査と同一問題の定着状況

- 平成 26 年度 A 問題で、平成 24 年度「基礎・基本」定着状況調査と同一問題の通過率の変化  
(概ね、平成 24 年度の中学校第 2 学年の生徒が平成 26 年度になって受験した結果を表す)

A 問題の国語総合・数学 I・英語 I と平成 24 年度「基礎・基本」定着状況調査(中学校第 2 学年 6 月実施)の平均通過率を比べると、全ての問題において上昇しており、義務教育段階の学習内容は、中学校での調査実施後から高等学校第 1 学年段階でより定着している。ただし、通過率 30% 未満の生徒については、通過率が極めて低く、義務教育段階の学習内容の定着が不十分である。

教科・科目	設 問	平均通過率		
		平成 24 年度 調査(中学校 第 2 学年)	平成 26 年度	
			第 1 学年	通過率 30% 未満の生徒
国語 A 国語総合	次の文について、傍線部に対する主語を、あとの ①～④の中から選び、その番号を書きなさい。 私は友達の本をロッカーに 入れました。  ① 私は ② 友達の ③ 本を ④ ロッカーに	63.2%	70.3%	18.4%
数学 A 数学 I	右の表は、あるクラスの生徒 40 人の立ち幅とびの記録を度数分布表に表したものです。このとき、175cm 以上 195cm 未満の階級の相対度数を求め、小数で答えなさい。(図は省略)	44.8%	63.7%	2.0%
外国語 A コミ英 I	A: ( ) Ken and Mike play tennis every day? B: No. They play tennis on Sunday. ① Is ② Are ③ Do ④ Does	37.2%	44.1%	8.4%

#### 5 前年度からの通過率の変化

- 平成 26 年度 B 問題で、平成 25 年度 A 問題と内容が同一又はほぼ同一であった問題の通過率の変化  
(概ね、平成 25 年度の第 1 学年生徒が平成 26 年度になって受験した結果を表す)

【国語】いずれの問題についても通過率が上昇しており、定着が進んでいる。

内 容 〔平成 26 年度 B 問題番号〕	変 化	平成 25 年度	平成 26 年度	種 類
常用漢字の読み 〔1-②〕	5.3	90.6%	95.9%	同 一
常用漢字の読み 〔1-④〕	9.0	59.6%	68.6%	同 一
常用漢字の書き 〔1-①〕	6.7	86.3%	93.0%	ほぼ同一
主語・述語の関係 〔1-③〕	4.1	71.5%	75.6%	同 一

【数学 I】方程式と不等式、二次関数を内容とする 2 問については、通過率が低下したが、概ね、定着が進んでいる。

内 容	変 化	平成 25 年度	平成 26 年度	種 類
数と式 〔1(1)〕	4.6	83.0%	87.6%	同一
数と式 〔1(2)〕	3.0	75.4%	78.4%	ほぼ同一
方程式と不等式 〔2(2)〕	5.3	73.3%	78.6%	同一
方程式と不等式 〔2(4)〕	2.4	80.7%	83.1%	ほぼ同一
方程式と不等式 〔2(5)〕	-1.1	73.0%	71.9%	ほぼ同一
二次関数 〔3(3)〕	-0.5	48.0%	47.5%	同一

【英語Ⅰ】リスニングを内容とする3間については、通過率が上昇したが、多くの問題で通過率が低下していることは課題である。

内 容	変 化	平成25年度	平成26年度	種 類
リスニング（相手の意図を理解し応答） ①(2)	↘ -4.2	66.1%	61.9%	同一
リスニング（相手の意図を理解し応答） ①(3)	↘ -3.0	79.3%	76.3%	同一
リスニング（相手の意図を理解し応答） ①(4)	→ -0.5	85.8%	85.3%	同一
リスニング（対話の概要や要点の把握） ①(6)	↗ 5.6	77.7%	83.3%	同一
リスニング（対話の概要や要点の把握） ①(8)	→ 2.3	83.4%	85.7%	同一
リスニング（文章の概要や要点の把握） ①(9)	→ 2.4	78.4%	80.8%	同一
場面に適した正しい英語の表現 ⑧(1)	↘ -7.8	58.8%	51.0%	同一
how+不定詞の用法を書く ⑨(2)	↘ -3.8	81.9%	78.1%	同一

## 6 生徒質問紙調査結果と学校質問紙調査結果

### (1) 生徒質問紙調査結果

- ☆ 平成25年度調査と比べ、肯定的な回答の割合が、1・2年次ともに2ポイント以上増加した項目
- あなたをよくわかってくれる先生がいます。
  - 勉強は入学試験や就職試験に関係なくとも大切だと思います。
  - 勉強は私のふだんの生活や社会生活の中で役立つと思います。
  - 自分から進んで勉強します。
  - ふだんから計画を立てて勉強に取り組みます。
  - 平日（月曜日～金曜日）、休日（土曜日、日曜日、祝日など）、家庭では、1日にどのくらい勉強しますか。」（学習塾や家庭教師との学習はのぞきます）

### (2) 学校質問紙調査結果

- ☆ 「あてはまる」と回答した学校の割合が、いずれの年次、教科についても8割を超えた項目
- 【各教科の指導に関する調査】
- 生徒の学習到達度を把握した上で、習熟の程度に応じた指導を実施している。
  - 中学校で学習したことを把握した上で、指導を行っている。
  - 昨年度の共通学力テストの結果から明らかになった学校の課題を踏まえて作成した今年度の「基礎学力向上対策実施計画書」にもとづいて指導をしている。
- 【その他の教育活動に関する調査】
- 公開で研究授業を実施している。
  - 校内の教科間で授業を公開し、研修している。
  - 生徒による授業評価を実施し、指導の改善に生かしている。



## 7 各科目の平均通過率と正の相関関係が見られた主な調査項目について

生徒質問紙調査及び学校質問紙調査の回答と、各科目の平均通過率との相関係数を求め、相関をみた。

### (1) 生徒質問紙調査結果

☆ いずれの年次でも相関係数が高く、平均通過率と有意な関連があると考えられる項目

#### 【生活などに関する項目】

- 携帯電話等を用いてメールやSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）利用する時間が短いこと。

#### 【学習に関する項目】

- わからない問題でも、あきらめないでやってみること。
- 答が間違っていたとき、その理由を確かめること。
- 家庭での、1週間当たりの勉強日数や1日当たりの勉強時間が長いこと。

### (2) 学校質問紙調査結果

☆ いずれの年次でも相関係数が高く、平均通過率と特に有意な関連があると考えられる項目

#### 【全ての教科の指導に関する項目】

- 計画的に宿題などの学習課題を出している。
- 理解が十分でない生徒に、放課後を利用した補充的な学習指導をしている。
- 希望する生徒に、放課後等を利用した発展的な学習指導をしている。

#### 【数学科についての項目】

- 定理や公式などの意味を理解させるような指導を工夫している。
- 生徒に自分の推論の過程を説明させる機会を設けている。
- 生徒同士がお互いの考え方を交流し、比較・検討する場面を取り入れた指導を行っている。
- 問題を解決した後、思考の過程を整理させるなど振り返らせる指導を取り入れている。

#### 【外国語科についての項目】

- 中学校で学習したことを把握した上で授業を展開している。
- 普段から主に英語で授業を展開している。
- 自分の考えなどを整理して、場面や目的に応じて英語で書かせる機会を設けている。
- 対外的な英語関係コンテスト等に参加、出場させるための取組、指導を行っている。

#### 【その他の教育活動に関する項目】

- SHR等を利用して「朝の読書」を実施するなど、生徒の読書活動を促進する取組を実施している。
- 家庭学習の状況について調査し、学習指導に生かしている。
- 生徒による授業評価を実施し、指導の改善に生かしている。
- 学習課題の質や量を教科間で調整している。

通過率が60%以上の生徒の割合が80%以上の学校一覧

校番	学校名	国語A	国語B	数学A	数学B	外国語A	外国語B
1	広島皆実	○	○	○	○	○	○
2	広島国泰寺	○	○	○	○	○	○
3	広島観音	○	○	○	○	○	○
4	広島	○	○	○	○	○	○
5	呉宮原	○	○	○	○	○	○
6	呉三津田	○	○	○	○	○	○
7	三原	○	○	○	○	○	○
9	尾道東	○	○	○	○	○	○
10	尾道北	○	○	○	○	○	○
11	福山誠之館	○	○	○	○	○	○
12	福山葦陽	○	○				
13	海田	○	○			○	
15	廿日市	○	○	○	○	○	○
20	加計	○					
20	加計芸北	○	○				
22	吉田	○					
24	賀茂	○	○	○	○	○	○
25	竹原	○					
26	忠海	○	○	○			
28	御調	○					
30	世羅	○					
33	府中	○	○	○	○	○	○
36	三次	○	○	○		○	○
37	庄原格致	○	○	○	○	○	○
43	日彰館	○					
44	黒瀬	○					
49	五日市	○	○	○		○	○
51	安古市	○	○	○	○	○	○
52	大門	○	○	○	○	○	○
54	福山明王台	○	○	○			
56	高陽	○	○	○	○	○	○
58	広島井口	○	○	○	○	○	○
63	安芸府中	○				○	
64	神辺旭	○	○	○		○	○
67	廿日市西	○		○			
68	祇園北	○	○	○	○	○	○
69	高陽東	○					
73	安芸南	○	○	○		○	
90	西条農業	○					
92	尾道商業	○					
93	広島商業	○	○				
94	呉商業	○					
122	戸手	○					
125	広島	○	○	○	○	○	○
126	総合技術	○	○	○			
	広島市立基町	○	○	○	○	○	○
	広島市立舟入	○	○	○	○	○	○
	広島市立安佐北	○	○	○	○	○	○
	広島市立沼田	○	○	○	○	○	○
	広島市立美鈴が丘	○	○	○		○	
	広島市立商業	○					
	呉市立呉	○	○	○		○	
	福山市立福山	○	○	○	○	○	○
	学校数(H26)	53	38	35	25	33	28
	学校数(H25)	43	38	36	33	35	35

受験者数が10人以下の科目を除いて作成。

2年次の時の成績が1年次の時の成績より伸びた学校一覧

校番	学校名	国語	数学(数学Ⅰ・数学活用)	外国語(コミュニケーション英語Ⅰ)
1	広島皆実	○		○
2	広島国泰寺	○	○	○
3	広島観音	○	○	○
4	広島	○	○	○
5	呉宮原		○	○
6	呉三津田		○	○
7	三原	○		○
8	三原東			○
9	尾道東	○	○	○
10	尾道北	○	○	○
11	福山誠之館	○	○	○
14	音戸		○	○
15	廿日市		○	○
18	大竹		○	
18	大柿		○	
20	加計	○	○	
20	加計芸北	○		○
21	千代田			○
23	向原	○	○	○
24	賀茂		○	○
28	御調	○	○	○
30	世羅	○		○
31	松永		○	-
32	沼南	○	○	○
33	府中		○	○
34	油木			○
35	上下		○	
36	三次			○
37	庄原格致	○	○	○
38	東城			○
39	瀬戸田	○	○	
43	日影館	○		○
44	黒瀬		○	
48	安芸		○	
49	五日市			○
50	河内			○
51	安古市	○	○	○
52	大門			○
56	高陽		○	○
57	熊野		○	○
58	広島井口		○	○
59	豊田		○	
62	安西		○	○
64	神辺旭	○		○
65	府中東	○	○	○
67	廿日市西		○	
68	祇園北		○	○
70	呉昭和	○	○	
72	湯来南			○
82	福山工業	○	○	
84	三次着陵	○	○	
85	宮島工業	○	○	
88	神辺			○
91	庄原実業		○	○
95	福山商業			○
97	西城紫水		○	
121	大崎海星			○
123	因島		○	○
125	広島	○	○	○
126	総合技術	○		
201	広島市立基町	○	○	○
202	広島市立舟入		○	○
203	広島市立安佐北	○	○	○
208	広島市立大手町商業	-	○	○
211	福山市立福山			○
	学校数	28	45	49

2年次に、1年次に受けたA問題の科目と同一のB問題の科目を受けていない(比較可能なデータがない)課程、学科を除いて作成。

比較可能なデータが10人分以下の科目を除いて作成。

○: H25年度A問題の科目とH26年度B問題の科目とを比較して、通過率が60%以上の生徒の占める割合の変化の値が、県全体の当該割合の変化の値よりも大きい教科。

(参考)	60%以上の割合		変化
	H25A問題	H26B問題	
県全体			
国語	78.8%	78.0%	-0.8
数学Ⅰ	72.0%	63.9%	-8.1
数学活用	6.1%	40.0%	33.9
英語Ⅰ	69.5%	62.2%	-7.3

一: 2年次に、1年次に受けたA問題の科目と同一のB問題の科目を受けていない(比較可能なデータがない)教科。

1年次に、2年次に受けたB問題の科目と同一のA問題の科目を受けていない(比較可能なデータがない)教科。

・・・平成26年度ステップアップハイスクール指定校